

区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

戸・新小岩」の7つの地域の生活圏域ごとに行政サービスを実施すると、地域の実態に即した行政サービスの提供や社会資源のネットワーク化、潜在的な行政サービスの掘り起こしなどを図ることが可能となり、より効果的な行政サービスの実施に繋がる場合があると考えている。今後、総合型スポーツクラブなど、生活圏域に基づいた行政サービスの提供がふさわしいと判断できる場合には、圏域ごとの行政サービスの展開を積極的に検討していきたい。

※他の質問項目 特例転職制度の活用、生活圏域の現状と課題 など

日本共産党葛飾区議会議員団

行き詰まった自公政治から
区民の生活と営業を守れ

物価高から区民生活を防衛すること

問 政府が続けている社会保障費の自然増を毎年2千2百億円削減する抑制路線について、日本医師会は全国紙に反対意見を出しているが、区長はどのような見解を持っているのか。

答 葛飾区医師会と意見交換を行いなうら、制度の推移を見守っていく一方で、少子高齢化に伴い、社会保障関係費の増加が続いていることから、抜本的財源対策が講じられるよう、引き続き市長会などを通じて国に要望していきたい。

問 母子家庭白書によると母子世帯一世帯当たりの平均所得金額は、全世帯の平均所得金額の4割以下という厳しい状況にある。母子家庭の支援策として、家賃補助制度を区独自に実施すべきと思うがどうか。

答 住宅に困窮している母子世帯の方には、区内に2カ所ある家賃負担の少ない母子生活支援施設を案内し、その後、公営住宅の優先入居の制度を活用していただいております。家賃補助は考えていない。

※他の質問項目 住民税・国民健康保険料の区独自減免制度 など

中小企業対策

問 材料高騰に苦しむ中小企業、関係業界に、経営を維持できるように、補てんを国に求めるべきと思うがどうか。

答 今後も有効な対策が取られるよう、国に対し、全国市長会などを通じて要請をしていきたい。

問 急激に経済が悪化している今こそ融資制度の改善が必要である。融資条件の緩和、利率の引き下げが必要と思うがどうか。

答 区では、セーフティネット保証の対象にならない事業者も低利融資が受けられるよう不況対策緊急資金融資を継続している。利率は、ここ数年本人負担を他区より低く設定しており、今後は、経済情勢や金利動向などを踏まえ決定していく。

問 急激に経済が悪化している今こそ融資制度の改善が必要である。融資条件の緩和、利率の引き下げが必要と思うがどうか。

答 区では、セーフティネット保証の対象にならない事業者も低利融資が受けられるよう不況対策緊急資金融資を継続している。利率は、ここ数年本人負担を他区より低く設定しており、今後は、経済情勢や金利動向などを踏まえ決定していく。

問 区では、セーフティネット保証の対象にならない事業者も低利融資が受けられるよう不況対策緊急資金融資を継続している。利率は、ここ数年本人負担を他区より低く設定しており、今後は、経済情勢や金利動向などを踏まえ決定していく。



八百屋の店先

※他の質問項目 悉皆調査実施 など

学校給食費

問 学校給食への公費補助を今年度だけでなく、来年度も引き続き行うべきと思うがどうか。

答 現在、学校現場や保護者などからなる学校給食費検討委員会を設置し、検討している。来年度以降は検討結果に基づいて、給食費の改定をせざるを得ないと考えている。

※他の質問項目 東京都への食材費補助要請 など

高齢者福祉

問 後期高齢者医療制度は、国に廃止を求めるときと思うがどうか。

答 同制度は、制度の執行状況を踏まえ

国民の声を取り入れて改善しつつ実施されており、高齢者の医療を将来にわたって守っていくためにも、廃止すべきものとは考えていない。

問 第4期介護保険事業計画について、積立金を活用して、保険料負担を軽減することが必要である。また、低所得者の保険料を区独自に減免すべきと思うがどうか。

答 現在、厚生労働省から示された同計画期間における介護保険料設定の基本的な考え方に沿って、検討している。今後、介護保険給付準備基金の取り崩しや保険料の独自減免を含め、介護保険事業審議会及び議会などの意見を伺いながら設定していく。

問 社会福祉法人の特養ホーム建設を促進するため、区独自の補助制度を見直すとともに、区立の建設も進めるべきではないか。また、建て替え計画が進んでいる高砂団地跡地を特養用地として提供できるよう、東京都に求めるべきと思うがどうか。

答 社会福祉法人が安定的かつ継続して施設の運営が行えるよう、国、都の動向を見据え補助制度を見直していきたい。高砂団地建て替えで発生する余剰地は、特養ホーム及び短期入所生活介護を整備する社会福祉法人に提供できるよう、要望している。

※他の質問項目 家事援助復活 など

三菱製紙跡地開発

問 8月1日の区都市計画審議会では、住宅A地区における超高層マンション計画は、当初から区の方針であると答弁している。そうであるならば、公園と大学用地を区が都市再生機構から安く購入したと見せかけるために、区と同機構が一緒になって自作自演の地価つり上げを行ってきたと理解せざるを得ない。これは、区民参加による街づくり推進条例の精神にも反するのではないか。

答 住宅A地区は、平成18年11月に同機構が公募を行い落札した事業者がまちづくり方針や地区計画方針に基づき、施設整備計画を策定し事業を進

民主党 葛飾

シニア世代が安心して
住み続けることができるまちを

高齢者の孤独死対策

問 孤独死ゼロを目指して、かつしかあんしんネットへの登録を推進し、また、孤独死防止の啓発活動を行うべきと考えるがどうか。

答 平成19年度は、1千326人、20年8月末では、2千39人の方が登録されているが、今後もかつしかあんしんネットへの登録を積極的に推進するとともに、孤独死防止の啓発活動を進めていく。

問 自治会や高齢者クラブなどの地域力の活用を積極的に考えるべきと思うが見解を伺う。

答 地域力の活用は、非常に重要なものであると認識しており、かつしかあんしんネットワーク事業を推進していく上で、積極的に活用していく。

※他の質問項目 第4期高齢者保健福祉計画での位置づけ

学校施設及び教育

問 立石中学校、葛美中学校に校庭用の夜間照明が設置してあるが、利用状況



校庭用夜間照明・区内中学校

況を伺う。また、全ての中学校に設置予定と聞いているが、毎年度複数校に新規設置すべきと考えるがどうか。

答 同校ともほぼ毎日利用されている状況である。今後は設置のペースを速め、できるだけ早い時期にすべての中学校に夜間照明を設置したい。

問 区立学校に緊急地震速報を活用するための機器を導入すべきではないか。

答 導入した自治体の事例研究を十分に行うとともに、学校を含めたような施設に導入することが効果的であるかなどの課題についても検討し、判断をしていきたい。

※他の質問項目 小1プロブレム対策

金町駅周辺の街づくり・人口増加対策

問 賑わいと活力のあるまちづくりを進めるために、どのような方策を持っているのか。また、東金町一丁目地区ではどのような活動を行っているのか伺いたい。

答 居住機能を含めた土地の有効・高度利用の促進や新たな都市機能の導入などさまざまなまちづくり手法を活用して整備していく必要がある。地域の方々と一緒に考えることを目的に地域のまちづくりに関する勉強会を立ちあげて活動している。

問 貨物の引き込み線が利用されずに残っているが、土地を借り受けるなど何らかの活用方法があると思うがどのように考えているのか。

答 東金町一丁目のまちづくりの中で検討していきたい。その間、一部を有料の自転車駐車場に活用したい。さらに新たなまち並みが形成される地区については、開発事業者などに将来の公共施設整備に支障がないよう、道路などの拡充を要請している。

※他の質問項目 人口増加に対する保育園の対応 など

いつでも、どこでも、誰でもが最適な情報入手できる環境を

ユビキタス・ICT技術を活用したまちづくり

問 障害者に優しいまちづくりの一端を担える可能性のあるユビキタス・ICT技術を活用した自律移動支援プロジェクトを、本区でも活用していく必要があると考えるが、見解を伺う。

答 産学官が連携して検討を行っている状況で、今後の研究課題とする。

問 国土交通省が推進する自律移動支援プロジェクトに、本区も参画してみたいがどうか。また、民間企業や障害をお持ちの方などと連携し、実証実験に取り組みしてみたいがどうか。

答 次期IT推進計画の検討結果などを踏まえ、対応していきたい。

問 商業振興、観光振興、防災などのまちづくりに、他の地方自治体が実証実験を行っている場所依存型情報システムが、区民への情報提供をする上で有効と考えるが、見解を伺う。

答 平成18年に荒川流域7区による広域防災訓練で、ICTタグを活用した安否確認を行った。ユビキタス・ICT技術を活用して、外国人や観光客など場所不慣れな方々に観光情報や災害情報などの提供は有効なので、今後も研究をしていきたい。

問 建造物の設計情報や材料の品質情報点検・補修履歴などの情報を現地で確認できるトレーサビリティシステムを区有施設などに導入して、情報を効率よく管理する仕組みを検討していく必要があると考えるがどうか。

答 情報のデジタル化は、工事管理や建物の維持管理に有効と考える。今後の国際標準適用の動向や国、都の状況を見ながら検討していきたい。

問 さまざまな活用方法があるユビキタス・ICT技術を活用した施策を、今後のIT推進計画に盛り込んでいくべきと考えるがどうか。

答 ユビキタスネットワーク社会の実現に向けた手法として検討課題であると捉えている。第3次葛飾区IT推進計画を策定する中で、検討を進めていきたい。